

ふりがな 氏 名	すぎはら ひろき 杉原 央樹	職 名	准教授
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	教育原理Ⅰ、教育史、教師論、保育・教職実践演習(幼稚園)		
所 属 学 会	教育哲学会 日本デュエイ学会 日本教師教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
「教師論」、「教育史」等の授業における「履修ノート」の活用	平成28年4月～令和5年1月	「履修ノート」と呼ばれる振り返りシートを学生に記入させ、その内容を次回以降の授業に活用した。質問が記入されていた場合には次回授業で全体に補足説明を行い、双方向性を意識した授業の展開を目指した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	教職・保育職シリーズ5 教育・保育の新視点 〈ISBN978-4-86487-845-6 C3037〉	共	平成30年 3月6日	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者: 荒川志津代、市村由貴、伊藤充子、稲木真司、入口愛、大鐘要、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、加藤佳代子、門松愛、國京恵子、倉田梓、榊原剛、佐々木真吾、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹ほか(著者計31名)全310ページ中、第1部第1章「教育原理」・「教育史」等の「役立ち」に関する一考察—教育哲学の視点を手掛かりに—を執筆。(pp.1-10)
	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3 〈ISBN978-4-86487-911-8 C3037〉	共	平成30年 7月17日	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者: 荒川志津代、市村由貴、入口愛、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、門松愛、國京恵子、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、杉原央樹ほか(著者計24名)全202ページ中、第1章第2節「主体的・対話的で深い学び」の理解に関する一考察—「教育原理」の「見方・考え方」を手掛かりとして—を執筆。(pp.11-17)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	ミネルヴァ教職専門シリーズ③ 教 職論 〈ISBN978-4-623-08956-7〉	共	令和3年11 月25日	ミネルヴァ書房	広岡義之、林泰成、貝塚茂樹監 修 津田徹、広岡義之編著 執筆者:津田徹、柏木敦、池上 徹、林美輝、塩見剛一、佐々木 哲哉、武田猪久生、嶋口裕基、 杉原央樹、諏訪絵里子、佐久間 裕之(執筆者 計11名)全233 ページ中、第12章「保護者への 対応」を執筆。(pp.154-166)
論 文	教職課程担当教員の専門性に関 する研究動向—「教師教育者」お よび高等教育研究を中心に—	共	平成31年 3月10日	名古屋女子大学発行、 紀要編集委員会編『名古屋 女子大学紀要』第65 号(人文・社会編)	佐々木基裕、杉原央樹 全13ページ(pp.243-255)中、 pp.247-252を執筆。
	教師教育におけるリフレクション (reflection)モデルに関する考察— F・コルトハーヘンのALACTモデ ルに焦点をあてて—	単	平成31年 3月20日	早稲田大学教師教育研 究所(プロジェクト研究 所)『早稲田大学教師教 育研究所紀要 教師教 育研究』第9号	pp.5-16
	大学における効果的な授業法の 研究7(平成27~29年度)—学生 が主体的に学修する力を身につ けるための教育方法の開発—	共	令和元年 5月31日	名古屋女子大学総合科 学研究所『総合科学研 究』第13号	市村由貴、佐々木基裕、渋谷 寿、白井靖敏、杉原央樹、竹内 正裕、遠山佳治(代表)、豊永洵 子、羽澄直子、服部幹雄、原田 妙子、野内友規、山田勝洋、三 宅元子、吉川直志 全47ページ(pp.1-47)中、第4 章第1節4.「教育史」等におけ る「主体的な学び」について」を 執筆(pp.28-29)。
	教師教育における「省察的実践 者」としての専門家の役割—「省 察的実践者」の教育に伴う困難を 踏まえて—	単	令和2年 3月31日	早稲田大学教師教育研 究所(プロジェクト研究 所)『早稲田大学教師教 育研究所紀要 教師教 育研究』第10号	pp.17-27
	保育者志望学生の保育者観の豊 富化に関する一考察—学生の「経 験」に基づいた気づきへの一提案 —	単	令和3年 1月15日	名古屋女子大学文学部 児童教育学科編『児童教 育論集』第4号 令和2 年度	pp.95-99

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	大学における効果的な授業法の研究8(平成30年度～令和2年度)―本学における効果的なアクティブラーニングの開発―	共	令和4年5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第16号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志 全37ページ(pp.1-37)中、第3章第1節2.「文学部児童教育学科における「アクティブラーニング」の現状と課題」を執筆(pp.26-28)。
学会発表	「省察的実践者」への「成長」に関する考察―「成長」の意味に着目して―(口頭発表)	単	令和元年10月6日	日本デュイ学会第63回研究大会(慶應義塾大学)	発表要旨集録 pp.38-39
	教員養成における「省察」の深さに関する考察(口頭発表)	単	令和3年9月26日	日本デュイ学会第64回研究大会(オンライン・Zoomミーティング)	発表要旨集録 pp.33-34(PDFで配布)
その他(報告等)	大学における効果的な授業法の研究7―学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発―(機関研究中間報告)	共	平成30年5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第12号	市村由貴、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治(代表)、豊永洵子、羽澄直子、服部幹雄、原田妙子、三宅元子、野内友規、山田勝洋、吉川直志 (p.39)なお、代表執筆者がグループの研究経過をまとめて記述しているため執筆箇所を示すことはできない(機関研究中間報告については以下同じ)。
	大学における効果的な授業法の研究8(平成30～令和2年度)―本学における効果的なアクティブラーニングの開発―(機関研究中間報告)	共	令和元年5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第13号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.91)
	大学における効果的な授業法の研究8(平成30年度～令和2年度)―本学における効果的なアクティブラーニングの開発―(機関研究中間報告)	共	令和2年5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第14号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.137)

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
その他 (報告等)	「大学における保育者養成」の意義に関する一考察 —津守真の保育思想を手がかりに—(研究ノート)	単	令和3年 3月31日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第11号	pp.60-68
	大学における効果的な授業法の研究8(平成30年度～令和2年度) —本学における効果的なアクティブラーニングの開発—(機関研究中間報告)	共	令和3年5 月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第15号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.45)
	教師教育改革の動向と教師の自律性に関する一考察(研究ノート)	単	令和4年3 月31日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第12号	pp.22-30
	大学における効果的な授業法の研究9(令和3年度～令和5年度) —本学教育に適した効果的なインスタクショナルデザインに関する研究—(機関研究中間報告)	共	令和4年5 月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第16号	竹内正裕(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、 <u>杉原央樹</u> 、羽澄直子、服部幹雄、三宅元子、吉川直志(p.49)